

一般質問

主な質問と答弁

介護認定の更新手続き

有効期間内に認定できず 審査会運営の見直しや執行体制の充実を図る

清水 竜太郎

(民主・無所属クラブ)

介護認定の更新手続きは、自らが運営するサービスとして欠かせないものとなっている。昨年8月からの一年間で、介護認定の結果通知が介護保険証の有効期間内に不出された件数、認定までに要した平均日数を聞きたい。また、認定結果は原則申請から30日以内に通知することとなっているが、遅延の原因と今後の対応について聞きたい。

答弁 介護認定の更新申請において、有効期間内に認定結果を出すことができない

かつた件数は7186件で、申請から認定結果を通知するまでに要した日数として、平均66.3日であった。これまで、介護認定審査会の増設や業務の人員増が、昨年8月以降、認定有効期間の制度改正に起因する、更新申請件数の急激な増加に十分に対応できなかったことが、遅延の増加原因と考える。

今後は、介護認定審査会の運営の見直しに取り組みるとともに、執行体制の充実に向け関係部門と協議・調整を行い、遅延件数の削減を図る。

また、他市では生涯学習、市民活動、青少年活動等の支援機能をあわせ持つ図書館もあるが、本市の図書館の今後のあり方について聞きたい。

現在、市民図書館で使用している図書館情報システムを市民図書館へ導入することにより、利用方法の一本化やブックポストによる利便性の向上、開室時間の延長などが図れることから、費用面も含め検討していく。

また、本市の図書館は、各市民図書館と各市民図書室がそれぞれの役割を担いつつ、一体的な運営により市内全域にサービスを提供していることが最大の特長とされている。今後も全ての人が、学びや活動の拠点としてライフステージに応じた利用ができ、人生を豊かにするための図書館となるようさまざまな取り組みを進めていく。

また、本市でもさまざまな財政的支援を行って、子どもたちの未来は地域全体で支える必要があることから、基金や寄附制度の創設について、地域の方には、

子どもたちの未来の基金等の制度創設を

図書館システム統合

利便性の向上を図る

北橋 節男

(市民クラブ藤沢)

また、本市の図書館は、各市民図書館と各市民図書室がそれぞれの役割を担いつつ、一体的な運営により市内全域にサービスを提供していることが最大の特長とされている。今後も全ての人が、学びや活動の拠点としてライフステージに応じた利用ができ、人生を豊かにするための図書館となるようさまざまな取り組みを進めていく。

また、本市でもさまざまな財政的支援を行って、子どもたちの未来は地域全体で支える必要があることから、基金や寄附制度の創設について、地域の方には、

子どもたちの未来の基金等の制度創設を

また、本市でもさまざまな財政的支援を行って、子どもたちの未来は地域全体で支える必要があることから、基金や寄附制度の創設について、地域の方には、

子どもたちの未来の基金等の制度創設を

また、本市でもさまざまな財政的支援を行って、子どもたちの未来は地域全体で支える必要があることから、基金や寄附制度の創設について、地域の方には、

子どもたちの未来の基金等の制度創設を

市民の市政参画促進

ナッジ理論の活用を

桜井 直人

(市民クラブ藤沢)

また、効果的なインセンティブとするために、例えば、検診に行かない市民の心理を理解した上で、行動の変容を促す、いわゆるナッジ理論を取り入れる先進自治体があるが、本市でもこの理論の研究を進めながら、具体的な仕掛けを検討していく。

また、効果的なインセンティブとするために、例えば、検診に行かない市民の心理を理解した上で、行動の変容を促す、いわゆるナッジ理論を取り入れる先進自治体があるが、本市でもこの理論の研究を進めながら、具体的な仕掛けを検討していく。

また、効果的なインセンティブとするために、例えば、検診に行かない市民の心理を理解した上で、行動の変容を促す、いわゆるナッジ理論を取り入れる先進自治体があるが、本市でもこの理論の研究を進めながら、具体的な仕掛けを検討していく。

また、効果的なインセンティブとするために、例えば、検診に行かない市民の心理を理解した上で、行動の変容を促す、いわゆるナッジ理論を取り入れる先進自治体があるが、本市でもこの理論の研究を進めながら、具体的な仕掛けを検討していく。

また、効果的なインセンティブとするために、例えば、検診に行かない市民の心理を理解した上で、行動の変容を促す、いわゆるナッジ理論を取り入れる先進自治体があるが、本市でもこの理論の研究を進めながら、具体的な仕掛けを検討していく。

民間送迎の活用 高齢者の移動支援 新たな交通手段を検討

東木 久代

(藤沢市公明党)

高齢者の移動支援は、交通体系の再構築が必要と考えるが、今後の取り組みについて聞きたい。

また、他市の介護事業者が導入しているAIを搭載したICTシステムは、デイスター送迎車に活用することにより高齢者の移動

また、他市の介護事業者が導入しているAIを搭載したICTシステムは、デイスター送迎車に活用することにより高齢者の移動

また、他市の介護事業者が導入しているAIを搭載したICTシステムは、デイスター送迎車に活用することにより高齢者の移動

また、他市の介護事業者が導入しているAIを搭載したICTシステムは、デイスター送迎車に活用することにより高齢者の移動

また、他市の介護事業者が導入しているAIを搭載したICTシステムは、デイスター送迎車に活用することにより高齢者の移動

また、他市の介護事業者が導入しているAIを搭載したICTシステムは、デイスター送迎車に活用することにより高齢者の移動



新たな交通手段として期待される民間送迎

また、他市の介護事業者が導入しているAIを搭載したICTシステムは、デイスター送迎車に活用することにより高齢者の移動

また、他市の介護事業者が導入しているAIを搭載したICTシステムは、デイスター送迎車に活用することにより高齢者の移動

また、他市の介護事業者が導入しているAIを搭載したICTシステムは、デイスター送迎車に活用することにより高齢者の移動

また、他市の介護事業者が導入しているAIを搭載したICTシステムは、デイスター送迎車に活用することにより高齢者の移動

また、他市の介護事業者が導入しているAIを搭載したICTシステムは、デイスター送迎車に活用することにより高齢者の移動

また、他市の介護事業者が導入しているAIを搭載したICTシステムは、デイスター送迎車に活用することにより高齢者の移動

また、他市の介護事業者が導入しているAIを搭載したICTシステムは、デイスター送迎車に活用することにより高齢者の移動



学びや活動の拠点をめざす=総合市民図書館

これまでも子育てふれあいコーナーへのボランティアや、地域子ども家の見守り活動など、子どもや子育て家庭への支援活動にさまざまな形で尽力いただいている。

現在本市では、子どもの貧困対策に関する実施計画の策定に取り組み中であり、新たな基金や寄附制度を活用し、計画に位置づけた事業を実施することは有用であるとされている。

また、広く地域・社会からの支えを得るために、クラウドファンディングを活用することなども、一つの方法と考えられることから、既存基金の活用を含め、基金・寄附制度について検討していく。

温室効果ガスの削減 実現可能な目標を

松下 賢一郎

(藤沢市公明党)

藤沢市地球温暖化対策実行計画に位置づけられた温室効果ガスの削減目標は、令和4年度までに40%削減するとしているが、達成は可能であるのか聞きたい。

直近の値である平成28年度の実績としては、基準年の平成2年度に対し、約24.6%の削減となり、目標達成は若干高いハードルと認識している。

また、市民・事業者・NPO法人・大学等と連携することで、より一層実現可能な状況と考える。国では実現可能な目標として、令和12年度までに平成25年度

分身ロボット 学習支援等に活用を

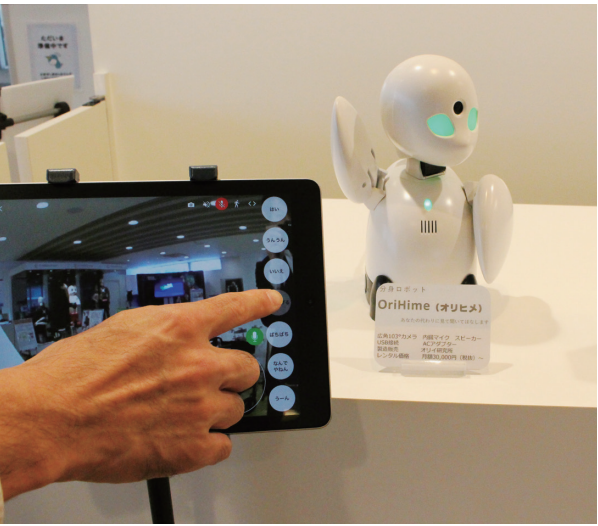
原田 建

(アクティブ藤沢)

自然なコミュニケーションが取れる

在宅でも職場とのコミュニケーションが取れる

在宅でも職場とのコミュニケーションが取れる



不登校児童・生徒への学習支援として期待される分身ロボット

不登校児童・生徒への学習支援として期待される分身ロボット